



- “農”をつながりと生きがいの場に変える-

ウェルビーイングを育む 大木戸モデル

ユニバーサル農業と地域資源循環で築く、
持続可能なまちづくりを目指して

◎発表者

千葉エコ・エネルギー株式会社 専務取締役 蘭原 領
(共同応募: 株式会社つなぐファーム)



千葉エコ・エネルギー株式会社



導入：大木戸からはじまる挑戦

2012年創業、2018年取組開始

◎創業のきっかけは東日本大震災

- ・「電気」と「食」が途絶えた経験、当たり前の喪失
- ・日本のエネルギー政策の転機
- ・地方、地域と向き合うには農業が必須

◎大木戸地域からはじまる地域自立の挑戦

- ・千葉エコ・エネルギーとつなぐファームが協働
- ・「農業とエネルギーの自立」を実現するモデル
- ・永続地帯研究、農業のCN、エネルギーシフト

◎目指す姿：ウェルビーイングの実現

- ・エネルギー・食が満ち足りた世界で人はどう生きるのか
- ・誰もが豊かさを実感できる社会へ
- ・地域で自立を実感できるライフスタイル



課題：揺らぐ日本農業の基盤

見えにくい危機 = 三重依存の構造

1.エネルギーの依存

輸入エネルギーへの依存により、燃料価格の変動が農業経営を直撃

2.労働力の依存

高齢化と担い手減少が進み、季節労働を海外人材に過度依存

3.資材の依存

肥料や資材の輸入依存がコスト上昇と供給不安を招き、現場を圧迫

3つの依存が重なると、食料自給率の議論以前に“生産そのもの”的継続が危うくなる

$$\textcircled{O} \text{ 農業生産} = \text{エネルギー} \times \text{労働力} \times \text{資材}$$

“海外依存型”から“地域自立型”的農業へ

エネルギー・労働・資材の“三重依存”が、農の根を細らせています。
それを断ち切り、“人が生きがいを感じられる農”を大木戸から再生します。



柱①：営農型太陽光と電化で“地産地消”を実装

■発電と栽培を両立「営農型太陽光」

- ・発電と栽培を同一圃場で両立
- ・限られた国土の多面的活用を実現



■発電した電力を農業に活かす「電化農業」

- ・電力を農機・保冷へ供給し燃料費高騰リスクを低減
- ・エネルギーの地産地消⇒化石燃料からのエネルギーシフト

■気候変動を乗り越えるための「データ農業」

- ・微気象データを取得し設備・栽培条件を最適化
- ・設備・作物の最適条件を大学と連携して研究

▶ 脱炭素と農業再生を
両立する地域モデルへ

柱②：テクノロジーで“誰もが輝ける農業”

■AIとDXで“農業に関われる余地”を実現

- ・作業工程やノウハウをテクノロジーを用いて可視化
- ・初心者や高齢者でも取り組めるユニバーサル農業を目指す

■多様な人材が活躍する仕組み

- ・障がい者やシニア、地域住民などが共に働く
- ・農業体験やインターンシップなど多様な参画の仕方を実現

■社会とのつながりで“働く幸せ”を支援

- ・テクノロジーを利用して労務を補助
- ・就労機会と安定収入を確保し、社会参加を促進



▶ 農業を誰もが関わる
インクルーシブな産業モデルへ

柱③：地域資源を“肥やし”に、経済と土壤を豊かに

■ 地域の副産物を肥料に再利用

- ・クラフトビール工房の「麦芽かす」など地域資源を畑に還元
- ・廃棄物を資源化し、可燃ごみと処理コストを削減



■ 畑で野菜を育て、地域で食べる循環

- ・資源 → 生産 → 食 → 再資源化→ 資源
- ・地域とのつながり、社会とのつながりの充実



■ 小さな循環が地域の持続可能性を支援

- ・地域を支える経済循環、社会関係資本の構築
- ・働き手や参加者のやりがいを醸成

▶ 経済、資源、人材の
地域循環の流れを構築へ

成果と広がり：「大木戸モデル」の実績と波及性



◎営農型太陽光を起点とした 地域課題や社会課題を解決

- ・耕作放棄地の再生
- ・地域雇用と交流の拡大
- ・教育受入と連携研究の推進



▶ **自立した豊かさを通じ、
ウェルビーイングを後押し**

未来ビジョン:「ウェルビーイングを育む社会」へ

- ・ **目指すのは「自立した地域」と「心の豊かさ」**
 - エネルギーと食の自立を通じて、人の生きがいを支える
- ・ **農業は“生産の場”から“つながりの場”へ**
 - 人が自然と関わり、暮らしを支えるコミュニティに
- ・ **大木戸から全国へ、希望の循環を**
 - 「農業×エネルギー×人」が生み出すウェルビーイングの社会へ
- ▶ **ウェルビーイングを育む大木戸モデル**
人が人らしく暮らす社会と一緒に目指しましょう
 - “農”をつながりと生きがいの場に変える-

